

地方史研究

430

第74巻 第4号

2024年8月

大会特集Ⅰ 五国の多様性と交流—兵庫地域史研究の新たな試み—

会告	2024年度(第74回)大会・総会について	(1)
	第74回大会を迎えるにあたって	(2)

問題提起		(4)
------	--	-------

定松 佳重	仲田 周平	坂江 渉	松岡 千寿	大村 拓生	田村 正孝
今井 修平	戸田 靖久	土佐 雅彦	今井 進	山内 順子	藤原 龍雄
金田 匡史	竹内 信	出水 清之助	戸部 愛菜		

第65回日本史関係卒業論文発表会 特別講座	地方史研究の歴史をたどる	山田 邦明 (74)
-----------------------	--------------	--------------

第65回日本史関係卒業論文発表会 参加記		(82)
----------------------	--	--------

吉田 勝弥	末武 宏太	小幡 哲央	草山 菜摘
佐藤 友美	山内 裕太	佐藤 夢来	

動向 資料保存問題 陵墓問題

「全国史料ネット研究交流集会in首都圏」に参加して	伴野 文亮 (100)
「鹿児島県霧島市溝辺町高屋山上陵立会調査見学」参加記	近沢 恒典 (105)

展示批評

石川町立歴史民俗資料館(イシニクル)の移転リニューアルオープンについて	山田 英明 (110)
-------------------------------------	---------------

研究例会報告要旨		(114)
----------	--	---------

鬼塚 知典	近藤 聖弥	堀内 誠司
-------	-------	-------

地方史の窓	(121)	新刊案内	(125)
-------	---------	------	---------

各種委員会報告	(138)	事務局だより	(140)
---------	---------	--------	---------

能登からのおたより		(144)
-----------	--	---------

声明	内閣府特命担当大臣決定「日本学術会議の法人化に向けて」(二〇二三年一月二二日)の撤回を求め、日本学術会議の法人化に強く反対する声明	(145)
----	---	---------

受贈図書論文要目		(73, 81, 99, 104, 109, 113, 137, 143)
----------	--	---

共通論題 五国の多様性と交流―兵庫地域史研究の新たな試み―
期 日 二〇二四年一〇月一九日(土)～二〇日(日)
会 場 甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区岡本)
日 程 一〇月一九日(土)

午前 自由論題研究発表・特別報告
午後 公開講演

総会

一〇月二〇日(日)

午前 共通論題研究発表

午後 共通論題研究発表・討論

懇親会

公開講演

藪田 貫氏(兵庫県立博物館館長、関西大学名誉教授)

「博物館と地方史―ひょうご歴史研究室の10年―」

大國正美氏(神戸深江生活文化史料館長、神戸新聞社)

「西摂地域からみた「ひょうご近世史」への視角

―都市と村を結ぶ交通・人流・物流を手がかりに―

*二〇二四年度の大会・総会は、現地会場とリモートを併用した形での開催といたします(事前申し込み、事前振り込みをご利用下さい)。

*本大会では巡見を実施いたしません、会場付近の歴史遺産地図、大会開催地の関係地図などを配布予定です。ご自身で見学に行かれる際の参考として下さい。

*兵庫県内の博物館などの活動を紹介するポスター出展や、チラシ・成果物などの配布コーナーの準備をしております。兵庫県博物館協会加盟館や地域の研究会などが参加する予定です。

*大会全体につきまして、詳細が決定し次第(八月中旬ごろ)、当会ホームページ、メーリングリストなどでご案内いたします。

第七四回(兵庫)大会共通論題 問題提起(副題省略)

- ① 淡路島の青銅祭器の動向について 定松 佳重(4)
- ② 但馬 横穴式石室の導入と展開からみた地域性と交流 仲田 周平(7)
- ③ 『播磨国風土記』研究の新潮流 坂江 涉(12)
- ④ 丹波焼生産開始の再評価 松岡 千寿(16)
- ⑤ 五国の神人 大村 拓生(20)
- ⑥ 中世五国の一宮と地域 田村 正孝(24)
- ⑦ 近世史研究における西摂・播磨 今井 修平(30)
- ⑧ 近世西宮えびす信仰の展開と兵庫 戸田 靖久(34)
- ⑨ 播磨の近世たたら製鉄をめぐる諸問題 土佐 雅彦(38)
- ⑩ 篠山藩における皮多村の役負担について 今井 進(42)
- ⑪ 丹波の村人にとっての大坂城加番 山内 順子(46)
- ⑫ 解明すすむ幕末の姫路藩 藤原 龍雄(52)
- ⑬ 庚午事変と淡路島の兵庫県編入 金田 匡史(55)
- ⑭ 近代における姫路と姫路城 竹内 信(59)
- ⑮ 明治前期における兵庫県の議会と政党 出水清之助(64)
- ⑯ 明治四〇年代・神戸市近郊における地域開発から見る「多様性」 戸部 愛菜(68)

原稿募集

左記の要領にて御投稿ください。

- ① 論文 400字詰原稿用紙換算40〜50枚
A4判縦置き・縦書き 26字×22行×2段組で14〜18枚
 - ② 研究ノート・史料紹介 400字詰原稿用紙換算20〜30枚
A4判縦置き・縦書き 26字×22行×2段組で7〜11枚
 - ③ 動向 400字詰原稿用紙換算6〜10枚、26字×22行×2段組で2〜3枚
 - ④ 地方史の窓 数枚程度
 - ⑤ 新刊案内 400字詰原稿用紙換算3〜5枚、17字×22行×3段組で1〜2枚
- ▼①・②の投稿は、本会員に限りません。
投稿原稿は、公刊されていない原稿で、他誌へ同時に投稿された場合、査読はできません。
投稿の際には、投稿原稿の種類を明記し、必ず正本一部と副本(コピー)二部を送付してください。枚数は図・表・註を含む枚数で換算します。
▼註記は、末尾にまとめて、通し番号で(1)、(2)……というように付してください。
- また、原稿枚数計算のため、本文と註記の書式は統一してください(たとえば、①の論文であれば、26字×22行×2段組とします)。
- ▼図・表は必要最低限とし、制限させていただく場合があります。
原稿中に大まかな掲載位置を書き入れ、併せて一つの図表につき本文何ページ分に該当するのかも書き記してください。また、写真・図版等の掲載・転載許可は、執筆者の責任でお取りください。
- ▼①・②・③の原稿の末尾には、自宅・職場から掲載を希望する連絡先を選択して() つきで記入してください。
- ▼ご投稿にあたり、いずれも完成原稿が条件となります。①〜⑤の書式が守られていない原稿および、文章の推敲がなされていない原稿については、編集小委員会の判断で、受理しないことがあります。また、投稿後および校正時の加筆訂正はお断りしております。
- ▼①〜⑤以外の原稿をご投稿の場合、扱いは編集小委員会にお任せください。
原稿は随時受け付けております。ただし、④・⑤の原稿締切は原則として偶数月の10日といたします。
- ▼①・②の採否は、なるべく3ヶ月以内にお知らせいたします。
▼掲載論文を転載する場合、必ず本会の承認を得てください。掲載原稿の転載は、原則として刊行後一年を経ってから可能になります。

原稿送付先

〒111-0032 東京都台東区浅草五―三三―一―二F
地方史研究協議会 編集小委員会

編集後記

◇「地方史の窓」・「新刊紹介」では、皆様からの原稿を随時募集しております。本号も様々な地方史の情報をお寄せいただきました。今夏も各地で最高気温を更新する猛暑が続いておりますが、本誌が皆様への一服の清涼剤になれば幸いです。(長谷川幸一)

◇本号と次号には、兵庫大会の問題提起を掲載します。本号には、一六本の原稿を掲載することができました。ご寄稿いただいたみなさまにお礼申し上げます。あわせて、兵庫大会の会告も掲載いたします。一〇月に向けて大会の準備を進めているところですが、通常の記事とあわせて大会関係の記事をぜひ一読ください。

◇「会誌充実は本会活動の正直な反映」との会長メッセージ(本誌四二一号)を体現すべく、努めております。今号も兵庫大会関係記事をはじめ、多くの有意義な情報をお寄せいただきました。引き続き、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。(松本洋幸)

◇「会誌充実は本会活動の正直な反映」との会長メッセージ(本誌四二一号)を体現すべく、努めております。今号も兵庫大会関係記事をはじめ、多くの有意義な情報をお寄せいただきました。引き続き、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。(松本洋幸)

下さい。

地方史研究

第四三〇号

二〇二四年八月一日発行 定価一四三三円(税込一五七五円)

〒111-0032

東京都台東区浅草五―三三―一―二F

編集
発行人

地方史研究協議会

会長 久保田 昌 希

発行所

〒152-0062

東京都世田谷区南鳥山四―二五―一六

岩 田 書 院

電話 〇三(三三三二六)三七五七
http://www.iwata-shoin.co.jp

印刷所

〒170-0013

東京都豊島区東池袋五―四九―一六

株式会社 白 峰 社